

平成27年度：東京事業所の課題と方針

部	門	計 画 立 案 者
施 設	長	我 謝 悟

今年度も、リーダー層との研修を重ね人材育成の課題を整理すること、業務を見直し利用者の安心と満足の向上、設備の改修もあわせてより働きやすい環境整備などにも取り組んでいきたい。先日発表された介護報酬改定では、各事業とも非常に厳しい改定となった。これを受けて、東京事業所として中長期的な視点を持ちながらも、具体的に業務改善、事業の再検討を迅速に行っていかなければならない。その中にあるにも、社会福祉法人として、地域包括ケアシステムおよび社会貢献を進めていかなければならない。今年度は、特に新たな事業として杉並区において、児童発達支援事業を区の委託を受けてスタートさせることとなった。その事業をしっかりと運営することやその他の地域貢献など具体的な取り組みを進めていく第一歩の年としたい。

< 課 題 >

非常に厳しい介護報酬の改定を受けて、事業の大幅な見直しが必要となる事業もあるなかで、各課で加算など、できる限りの対応を検討していく。それに加えて、課を超えての連携や協力をしていくことで、必要なサービスをしっかりと提供していくこととしたい。

1. サービスの質の向上に取り組む

- 1) 接遇（利用者への接し方）・マナーの向上は引き続きの課題とし、その上で喜ばれるサービスの提供を進めていきたい。
- 2) もう一年リーダー育成に焦点を当て、拡大スタッフ会を研修の場所として計画的に活用していく。そこから、中堅職員への伝達研修などで組織全体のレベルアップにつなげていく
- 3) 入浴の在り方について、職員配置の検討に加えて、ハード面の改修も検討する。
- 4) ショートステイ利用者の満足度を上げる対策として、在宅サービス部門との連携を試行する（継続課題）

2. 業務内容と設備の見直しを進め、利用者と職員の安心と安全、満足の向上を目指す

- 1) 杉並での新規事業に配置する人員も含めた適正配置を検討するとともに、業務の見直しと設備の改修なども同時に進めることで、スタッフの負担軽減に取り組む。
- 2) 設備の老朽化について点検を強化し、計画的に見直していく。今年度は浴室の増設を含む環境整備を進め、より快適に生活していただけるように配慮する
- 3) ヒヤリハット報告の在り方について見直しと感染症対策は、今年度も継続して取り組んでいく。

3. 地域包括ケアシステムの構築につながる地域福祉の充実をはかる

- 1) 杉並での新規事業を実施するうえで、東京衛生病院や区立こども発達センターをはじめ、地域の関係機関との連携を密にし、杉並での協力関係を強めていく
- 2) 特養と在宅連携し、事業所として地域ケア会議に職員が参加し、地域の実情を知り、自治会や自主グループの活動に関わっていく
- 2) 通所介護・訪問介護の新しい総合事業への移行に向けて、保険者と協議しながら社会福祉法人としてできること、やるべきことを考えていく
- 3) 防災用品や備蓄倉庫の整備を進め、災害時の対応に備える（継続課題）

4. 法人・施設の健全運営

- 1) 杉並区からの委託による新規事業を東京衛生病院と連携して健全に運営する
- 2) 千葉事業所との定期的な法人経営委員会を実施し、法人全体の課題を検討していく
- 3) 現状で検討している課題を整理し、中長期計画を作っていく。
- 4) 介護職員初任者研修の実施について検討する。

